

## 米人女性がみた満州事変

2008/10/05 16:35

アメリカの鏡・日本

随分前の話ですが、テレ朝の田原総一郎が番組に出席した議員（確か高市早苗さんもいたと思う）の前で「**何いってんだ！、満州事変は軍部の独走による日本の侵略ですよ、そうだよね**」といていたのを思い出します。

また、左翼のみならず、保守系と云われる人でも「満州事変は日本の侵略戦争」という認識の多いことに驚かされます。しかし情けないですね。当時、日本を非難した欧米列強も「満州を侵略した」から非難したのではないのです。

そんなことをすれば、非難する欧米列強こそ侵略を犯しているわけですから、話のつじつまがあわなくなってしまう。そう、「世界は腹黒い」のです。以下、知日派のアメリカ人女性が1948年に著した「アメリカの鏡・日本」から紹介します。



## 満州事変

ほとんどの人が知っているように、日本軍は1931年9月、不当に満州に出兵して中国軍部隊を追い出し、たちまち武力で「独立」傀儡国家、満州国をつくってしまった。[中国](#)はこの行為を侵略として国際連盟に提訴した。

連盟が日本の行為を批判し、満州国独立の合法性を認めなかったために、日本は国際連盟を脱退した。そして、日本は満州から撤退するどころか、[中国](#)内部に向け着実に南進していった。

1937年7月7日、北平（ペイピン、北京）で日中両軍の兵士が衝突し、第二次世界大戦につながる日華事変が起きた。[アメリカ](#)は、この時期の日本を[中国](#)国民に対する暴力と貧欲な行為で有罪とする。この告発には事実の裏づけがある。日本は告発どおり有罪なのだ。したがって、日本を懲罰することは正当であり、将来の侵略者に力は引き合わないことを教えるだろう。

しかし、懲罰と平和の問題は、口でいうほど単純なものではない。まず第一に、**満州事変に対する一般の見方が、きわめて複雑な事件を極端に単純化している**ことだ。第二に、一般に行なわれている日本非難は道義と人道を基盤にしているが、外国の侵略を押しとどめるのは道義ではなく、国際法である。

私たちが日本を罰する権利は、庶民感情や理想によっているのではない。超大国アメリカの工業力と軍事力を後盾にした米務省の決定によっているのだ。

今日行なわれている公式の日本非難には、韓国の「奴隷化」とか「凶暴で負欲な」という道義的表現がつかわれている。しかし、すでにみてきたように、日韓併合当時は、「奴隷化」という言葉はつかわれていなかった。「法と秩序」と日本の手段の「合法性」という言葉で議論されていたのである。

事実をみれば、満州事変も同じであることがわかるだろう。[韓国](#)でも、満州でも、国際問題は「道義的」かどうかではなく「合法」かどうかなのだ。




**欧米列強は韓国問題では日本を無罪とし、満州事変では有罪とした。**しかし、侵略行為で有罪としたのではない。国際連盟も[アメリカ](#)も、日本が満州を侵略したという非難はしていないのだ。

日本は国際条約を破り、条約当事国の満州における権利を侵したから有罪なのである。それだけでなく、[中国](#)も日本と並んで有罪とされた。しかも、[中国](#)にいわせれば、日本と[中国](#)を非難している欧米列強も日本と同じぐらい罪が重いのだ。

国際関係を正しく議論しようと思ったら、道義と国際法はまったく関係ないという事実を直視すべきだ。日本を有罪とするアメリカの世論は、満州事変を明白な侵略行為と考えている。**しかし、事実はまったく違うのである。**

アジアからみれば、これこそ日本と欧米列強が合法性を装い合う伝統的パワー・ポリティクスなのだ。

(抄訳版 アメリカの鏡・日本 ヘレン・ミアーズ著・伊藤延司訳、P160-162 [角川書店](#) 定価781円税別)

カテゴリ: [コラム](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(20\)](#)

タグ: [満州事変](#) [日韓併合](#) [権利侵害](#) [ヘレン・ミアーズ](#) [アメリカの鏡・日本](#)

コメント(20)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [RAM さん](#)  
hanausagi様、こんばんは。

2008/10/05 22:36

私は、この「満州事変」までの行動は、そう非難されるべきではないと考えます。問題は、日支事変での泥沼化、でしょう。長城を越えるべきではなかったと考えています。道義的な意味ではありません。政略・戦略的な問題です。長城以南は、国共内戦で、勝手に疲弊させておけば良かったのです。漁夫の利を得るのなら、もっとへとへとになるまで、知らん顔で見ておくべきです。まだ、相手が、中途半端に力を残しているのに、焦って手を出すから、こちらの国力も削がれる結果になったのではないのでしょうか？どちらかが倒れてから乗り込めば、結果はまったく違っていただいでしょうし、対米戦争も、違う形だったでしょう。この「満州事変」を指導した石原完爾は、不拡大を言っていましたね。



Commented by [kaigaramusi さん](#)  
花うさぎさん、こんばんは。

2008/10/05 22:38

連日の、私にとってはレベルの高いエントリを子供の世話のスキをみて、熟読しております。

渡部昇一さんの本を読み、

「満州はもともと中国の一部ではなく

## 米人女性がみた満州事変:イザ!

満州人が満州国をつくるのを日本人が  
手助けした」のだ

と理解していますが、これは日本側から見た  
一方的な歴史観なのではないでしょうか？

まだまだ勉強が足りない上に、情で物事を  
判断してしまいがちな私です。  
(たとえば気に食わないヒトの意見は素直に耳に  
入らない！逆もあります。)  
これは女性一般の悪しき性癖ですね。  
(え？私だけでしょうか！？・・。そうかも。)

土日、お孫さんたちは運動会ではありませんでしたか？  
我が家はじいちゃんばあちゃんも見に来てくれて  
楽しく過ごしました。ヨメの役割はけっこう  
疲れる立ち位置でもありますが、幸せを感じる事も  
多いです。  
ここは移住者が多く、核家族が大多数なので運動会の  
風景も、少し風変わりなものがありますよ。



Commented by [すすめめだかさん](#)

2008/10/05 22:53

2年前にこの本を読みました。

読み始め、筆者は日本にたどり着くまで、好きでもない仕事を命ぜられ「あ～もううんざり。何で私があんなところに行かされるわけ。」といった調子が醸し出され我慢の要る内容です。

しかしそこを辛抱し読み進めると

原爆を落とされた国が反省ばっか、なぜしないといけないの？

日本はそんなに悪い国なのか？

学校ではなぜ明治以降の歴史はおしえてくれないの？

など疑問に思っていたことへの回答がはつきり出ています。というよりこの内容で日本の戦後が形成されているのですから合点がいくはずですよ。

私は日本を考える上で必ず読むべき本の一つに挙げます。



Commented by [花うさぎさん](#)

2008/10/06 01:29

To RAMさん

こんばんわ。

>この「満州事変」までの行動は、そう非難されるべきではないと考えます。

おっ、そうですか(^ ^)。日露戦争まではOKという司馬史観よりは広範囲で安心しました。

>長城以南は、国共内戦で、勝手に疲弊させておけば良かったのです。

当時でもそうした意見が強かったと私は思ってます。

>どちらかが倒れてから乗り込めば、結果はまったく違っていた

いまから思うとそうだったし、[蒋介石](#)(この男は日本で散々民族自決を学び莫大な資金援助も受けなら[アメリカ](#)と手を組んだ裏切り者です)も当初はそれを望んでいたでしょう。しかし、通州事件の勃発で日本の世論が一挙に強硬路線に動くのでした。

>この「満州事変」を指導した石原完爾は、不拡大を言っていましたね。

そうですね、東條英機と対立し、罷免されたが故に戦後の東京裁判でも戦犯リストから外されました。ところで、私の嫌いな政治家である[加藤紘一](#)、以前にネットで「石原完爾の親戚」という書き込みを見ました。

とたんに石原完爾に対するイメージも悪くなったんですが、考えすぎですかね…(^^)。

2008/10/06 01:57



Commented by **花うさぎ** さん

To kaigaramusiさん こんばんは(^^)。

2008/10/06 02:05

>これは日本側から見た一方的な歴史観なのでしょうか？

いや、渡部昇一先生は私が一番信頼している人ですし、この分野の研究では第一人者ですから、基本的にはその理解で間違いないと思います。日露戦争で得た権益を守り、なおロシアの南下を防ぐ意味でも満州国の建設は他国のような単なる支配よりはよほど真面目だったと考えています。

突然話が飛びますが、私が好きで子供に散々見せたアニメに「風の谷のナウシカ」という宮崎作品があります。この中に攻めてきた敵の軍の女性指揮官が「王道楽土」という言葉を使います。

この「王道楽土」とか「五族共和」という言葉は、この満州国立国の際によく使われたスローガンです。ちなみに満州国はわずか14年程度の期間でしたが、終戦直前に旧ソ連が条約を破って満州に侵攻した際に発生したのがいわゆる中国残留孤児です。正確には以上の理由で「満州残留孤児」ですが。

>土日、お孫さんたちは運動会ではありませんでしたか？

日曜日がそうだったのです。家内と二人で一時間半かけて千葉まで行ってきました。昨年の反省から今年はカメラを買い換えて「10ズームOK」のcanon SX110ISを持って行ったのですが、途中から孫が「お腹が痛い」と云いだしてリタイア。

聞けば急にお腹がふくれて昨夜救急車で病院に連れて行ったそうです。しかし、それが寿司屋での昼食になると元気一杯ですからなんだか、という印象です。まあ、年に一度、先方の両親も加えての団欒ですので良い機会だと思ってます(^^)。



Commented by **花うさぎ** さん

To すずめめだかさん こんばんは。

> 原爆を落とされた国が反省ばっか、なぜしないといけなの？

- > 日本はそんなに悪い国なのか？
- > 学校ではなぜ明治以降の歴史はおしえてくれないの？

いや～、よくぞ云ってくれました。本当にそう思います。

>私は日本を考える上で必ず読むべき本の一つに挙げます。

この本は1948年(私の生まれた年だ)にアメリカで出版されましたが、GHQの占領政策が続いていた日本では当然発禁でした。常日頃「日本は悪かった」と云っている日教組や左翼の連中に強制的に読ませたいです(^^)。



Commented by **RAM** さん

おはようございます。

2008/10/06 09:20

「蒋介石」に、随分、採点が辛いようですね。私は、敵国に対する態度は、そうであるべきで、日本の方が、中国に対して初心すぎたと考えております。このブログのタイトル通り「世界は腹黒い」のです。何も、日本も腹黒くあれ、と言うものではありませんが、他は皆、腹黒いのだという事は、常に肝に銘じておくべきですね。その様な、他国に対し腹黒い指導者、というのは、その国民にとれば、頼もしいのですから。

「通州事件」は「尼港事件」と合わせて、必ず教えるべきですね。

石原完爾が、加藤紘一と親戚であろうが無かろうが、気にしません。加藤の馬鹿さは、完爾の罪ではありませんから。

それに、何処の一族にも、立派な先祖もいれば、困ったものもおります。私も、本家の連中には、そう思われているのかも知れません(笑)。

Commented by **du-staro** さん

2008/10/06 09:58



hanausagi様

2008/10/06 10:09

hanausagiさんは何を言いたいのですかね。満州事変は侵略でないと言いたいのですか。侵略だけど悪くないと言いたいのですか。

合法的侵略というのがあるとすると、イギリスのアヘン戦争や香港租借などは合法的侵略になりますか、これは特に非難はされていません。しかし、満州事変は非合法的侵略ですよ。

第一次大戦後、もう世界大戦を起こさないようにということで話し合いが行われ、いわゆるワシントン体制ができます。アジア地域での平和を維持するために9カ国条約が結ばれます。

満州事変はこの条約に明らかに違反しますから非合法です。ヘレン・ミアーズもそう言いたいのではないですか。



Commented by RAM さん

To du-staroさん

>しかし、満州事変は非合法的侵略ですよ。

\* お伺いしますが、侵略だとすれば、被害国は何処だと言われますか？

また、例え傀儡であっても、主体は満州人であり、旧清朝が故地に戻ったと言う解釈が出来ないのであれば、

チベットも東トルクメンも、再興する根拠を失いますが、あなたの考え方では、そうなのですか？



Commented by 花うさぎ さん

To RAMさん おはようございます。

2008/10/06 10:38

>「蒋介石」に、随分、採点が辛いようですね。

彼が日本との戦いよりも毛沢東を片づけてからという方針だったのは判るのですが、日本で学んだのが東亞民族の自決、それがアメリカの助けを借りて日本と戦ったのですから、日本人なら怒るべきでしょう。

>「通州事件」は「尼港事件」と合わせて、必ず教えるべきですね。

大賛成です。いまでも教えていないのでしょうか。その余りの残虐性によって日本の世論は「おのれ～」となっていくのです。

>加藤の馬鹿さは、完爾の罪ではありませんから。

それはそうですね。土井も辞めると云っているし辞めてくれないかな、日本のために(^ ^)。



Commented by RAM さん

To hanausagiさん

2008/10/06 10:50

>彼が日本との戦いよりも毛沢東を片づけてからという方針だったのは判るのですが、日本で学んだのが東亞民族の自決、それがアメリカの助けを借りて日本と戦ったのですから、日本人なら怒るべきでしょう。

\* 日本から見れば、そうなのですが、為政者となれば、あるべき姿であるという客観評価もしておくべきだと思います。それと、別の事情はあったものの「以德報暴」は、有り難かったと思いますよ。



Commented by 花うさぎ さん

To du-staroさん

2008/10/06 10:59

>侵略だけど悪くないと言いたいのですか。

貴方はこの本を精読したことがありますか。上はその一部分ですが、日本・中国に詳しいヘレン・ミアーズですら60年もまえに「事実は全く違う」と断言しているのですよ。まずは読んで下さい。

>いわゆるワシントン体制ができます。アジア地域での平和を維持するために9カ国条約が結ばれます。

貴方がワシントン体制をどう考えているのか知りませんが、支配国が喧嘩腰で争っていたものを談合という話し合いに切り替えたのすぎません。

だから中国自身が一番不満をもちその後旧ソ連に接近していくことになるのです。自国の行動だけを見て判断するのではなく、世界がどういう状況だったのかを考えないと、木を見て森を見ないことになりますよ。

。



Commented by **花うさぎ** さん  
To RAMさん

2008/10/06 11:12

>別の事情はあったものの「以德報暴」は、有り難かったと思いますよ。

これは異議ありません。生前の親父も云ってましたが、その面では蒋介石を認めてました。

あと、日本軍に志願して勇敢に戦ってくれた現地の方々への補償、これが非常に気になってます。いっこうに進まない遺骨収集なども考えると、まだまだ戦後は終わっていないと感じます。



Commented by **parkmount** さん  
To du-staroさん

2008/10/06 11:47

>hanausagi様

>

> hanausagiさんは何を言いたいのですかね。満州事変は侵略でないと言いたいのですか。侵略だけ悪くないと言いたいのですか。

>

> 合法的侵略というのがあるとすると、イギリスのアヘン戦争や香港租借などは合法的侵略になりますか、これは特に非難はされていません。しかし、満州事変は非合法的侵略ですよ。

>

侵略に非合法、合法があるのですか。 それでは合法的犯罪も罪にならないと云う事ですね。(笑)



Commented by **kaigaramusi** さん  
花うさぎさん、こんにちは。

2008/10/06 13:16

宮崎作品は、私も好きで子供たちによく見せています。  
「王道楽土」のお話、なんだか鳥肌が立ちました！  
夢と信念を持って動いた人々がいて、今の私達につながっているんだなあと感じました。

お孫さん、大事無く良かったですね！  
軽いハブニングなら、後々かえって思い出に残り  
楽しい昔話大会ができるので、私は好きです。

このコメント欄に投稿される皆さんのお話は  
大変勉強になります。  
毎回、花うさぎ先生の講義に出席しているつもりで  
参加させていただいています。



Commented by **花うさぎ** さん  
To kaigaramusiさん こんにちは。

2008/10/06 14:22

>宮崎作品は、私も好きで子供たちによく見せています。  
>「王道楽土」のお話、なんだか鳥肌が立ちました！

風の谷のナウシカ、天空の城ラピュタ、となりのトトロの三部作はビデオテープ、レーザーディスク、DVDディスクと三回も買い直し、現在は孫にも見せています。世界に誇る傑作だと思います(^ ^)。

>お孫さん、大事無く良かったですね!

ありがとうございます。父親が「かけっこ」になかったとしかってましたが、「まあ、そう怒るなよ」と云っておきました。

>毎回、花うさぎ先生の講義に出席しているつもりで

がははははは。恥ずかしいからやめて下さい…(^ ^;)。



Commented by **ばんたかさん**

この『アメリカの鏡・日本』を、私も去年の今ごろ自分のところで取り上げたのですが、“戦後歴史観”の人も、そんなに日本は悪かったのかなあ、とっている人も、総ての日本人が是非一度は目を通して欲しい書物です。

2008/10/06 19:52

立場上、“戦後歴史観”で押し通さなければならない人もいるでしょうが、大方の日本人は、自分たちの国の近現代史はそうだったのかと、あらためて思い至るでしょう。

**小泉八雲**はいうに及ばず、幕末から明治にかけて来日した外国人は、多くの人が日本と日本人を称賛していますね。

その後も**ドナルド・キーン**、**ペマ・ギャルポ**、**エドウィン・ライシャワー**と数えればキリがありません。

我々が本来の日本人の心を取り戻せば、世界に貢献出来ることは経済以上に大きいと思うのですが。

自虐史観の人は認めたくないでしょうが、アジアの旧植民地の人たちに日本人は評判が良いですね。

殊にスリランカでは日本は“アジアの希望の星”ですし、去年行ったインドのガイドさんの話では、最近では**ネールさん**を抜いて**チャンドラ・ボースさん**の方が人気があるのだそうです。

なぜって聞いたら「あの人の方がインドの独立に貢献したから」だそうです。

ガイドさんがそう思っているだけかも知れないのですが。



Commented by **花うさぎさん**

To **ばんたかさん** こんにちは。

>戦後歴史観”の人も、そんなに日本は悪かったのかなあ、とっている人も、総ての日本人が是非一度は目を通して欲しい書物です。

本当ですね。いまや反日教育をしている特定アジアを除くと日本人だけでしょう。日本は悪かったなどと今でも信じているのは。

> **小泉八雲**はいうに及ばず、幕末から明治にかけて来日した外国人は、多くの人が日本と日本人を称賛していますね。

あの頃は貧しくても道徳とか公の精神を当然のように受け継いでいたと思います。

>アジアの旧植民地の人たちに日本人は評判が良いですね。

基本的には親日国でしょう。現代の何も知らない傲慢な日本人が評判を落としているケースがあるようですが。



Commented by **nihonhanihonさん**

日本人は本質的に優しい。

そこが好かれる部分でもありつけ込まれる部分でもある。

2008/10/09 15:47



Commented by **花うさぎさん**

To **nihonhanihonさん** こんにちは。

>日本人は本質的に優しい。

2008/10/09 16:12

## 米人女性がみた満州事変:イザ!

>そこが好かれる部分でもありつけ込まれる部分でもある。

そうなんですよね～。

タイトルの「世界は腹黒い」も他国の話だけでなく、日本もそれに対応せよという意味を持たせているのですが…(^.^)。